

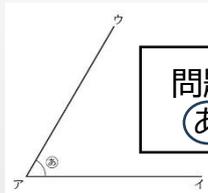
個別最適な学びの授業実践

Point 1 児童は課題解決方法を自分で選択できる

Point 2 自己評価で自分の学びを振り返る

●算数の専科教員による実践

<4年生 角度>



問題
①の角度は、何度ですか？

問題提示・課題づくり



課題解決方法を自分で選択
☆何も見ずに
☆教科書を見て
☆インターネットで調べる
☆友だちと協力

考える

教師はファシリテーターの立場で

自分の考えが書けた子は、説明できるか試したり、立ち歩いて友だちをサポートしたりする。



全体交流の時には全員手をとめ、聞く時間(書く時間と聴く時間のメリハリ)

まとめ・ふりかえり

全体交流後→自己評価(本時のふりかえり)

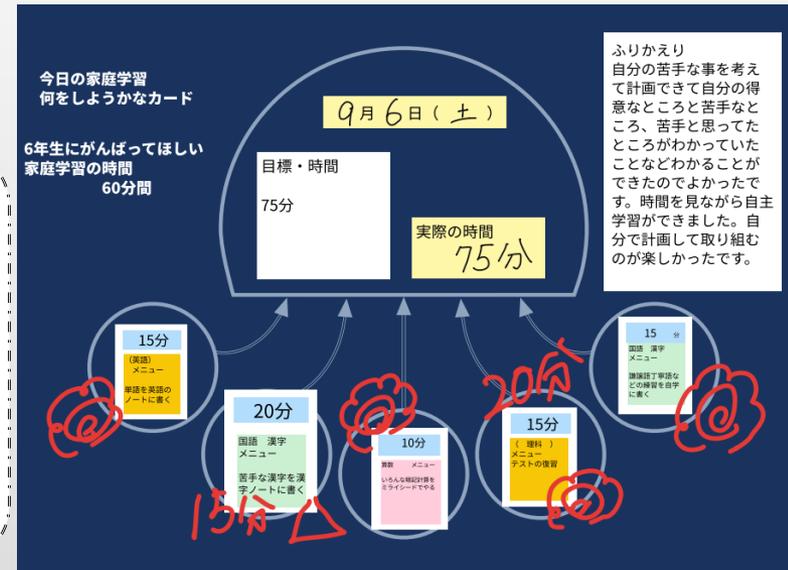
グループ・ペア交流後→児童がABCで自己評価
A…答えを自分で求めることができた○
友だちに伝えた○
B…答えを自分で求めることができた○
友だちに伝えた▲
C…答えを自分で求めることができた▲
自分の学びを中間評価

クラゲチャートを活用した家庭学習

Point 1 週末の課題の内容や時間を自分で決める

Point 2 自分の取組を振り返り、次回にいかしている

●6年生の取組の様子



ロイロノートで内容を全体共有することで、それぞれの取組を見合ったり、さらに意欲が高まったりしていく様子が見られている。6年生の取組を参考に、今は他の学年でも実践が進み、全校での取組と発展している。

成果

- ・児童に学習活動を選択する機会を設けることで、教師主導の学習ではなく、「自立した学習者」を育てる教育活動を展開することができており、児童のいきいきとした学習に向かう姿が見られた。
- ・『家庭学習』は、教師が出したものを「しなければならない」というものから「自分のために見通しをもってするもの」に変わることによって、児童の意欲が向上し、自己調整力の育成につながっている。